



男女共同参画推進委員会

第90回

学校における男女平等意識について

安中市男女共同参画推進委員会委員 新井 寛



いつの頃からか、学校現場で「男らしくしなさい」とか「女らしくないなあ」という言葉を教職員が使ってはなくなりました。

LGBTの理解や社会での受け皿作りが現在課題になっていて、学校現場でも正しい教育や対応に迫られています。つい、先日もお茶の水女子大学が体は男性でも心は女性の入学を認める発表がありました。

昨年人権教育映画会で映画「彼らが本気で編むときは」を見る機会がありました。主人公は体が男性で心は女性のトランスジェンダーで、学生時代にその事実や周囲の無理解に苦しみながらも好きな男性と一緒に暮らし、愛に包まれた家族を獲得していくお話でした。一番救われたのは、主人公の母親が息子(娘)の苦しみを理解し、認め、温かい目で見守っていることでした。改めて一番身近な家族が理解してあげることが大切なことと感じました。

学校現場でいろいろな子どもたちと接してきました。男らしい男の子や男気のある女の子もいたし、女の子らしい女の子や男の子もいました。本当にいろいろな子がいます。テレビの中には、男性として生まれながらも女性として生き生き仕事をしている人をたくさん

見ますし、認められています。要するに、その人らしく生きればよいということでしょうか。それを周囲が偏見や無理解の目で見ても、認めないことは人権侵害にあたりません。認めるも認めないも本人の生き方ですから、周囲がとやかく言うことは間違っています。徐々に日本も意識が変わりつつあります。しかし、まだまだ日本では女性働きにくい社会ですので、お父さんとお母さんが協力して子育てしながらも働きやすい環境を社会全体で整えていく必要があります。

これからの世の中はどう変化していくのでしょうか。日本も欧米の諸外国のように、社会も職場も子育てを応援する環境を整え、社会全体で子どもたちを育てる意識がより高まっていくのでしょうか。世界の中には未だ女性が運転免許を取れず、肌を夫以外に見せられず、一夫多妻制の国もあると聞きます。教育現場に携わる者の一人として、目の前の子どもたちに『男女は性の違いはあるけど、平等なんだよ。男女力を合わせてよりよい社会を築いていくんだよ。自分らしさをいつまでも大切に』と伝えて行くことは教育の重要な使命のひとつとらえています。そして子どもたちに大いに期待しています。

問合せ▶困市民生活課市民協働係 (☎内線1139)

安中市消費生活センターからのお知らせ

知人から誘われた仮想通貨への投資 もうかるはずが…

【事例】

趣味の会で知り合った人に勧められて、1年前に仮想通貨への投資の説明会に行った。「仮想通貨を購入すると価値が上がる」と言われ、約90万円振り込んだ。「1年経ったら会社が買い取る」と言われていたが業者と連絡が取れない。返金してもらいたい。



【ひとことアドバイス】

- ☆知人から説明会やセミナーなどに誘われ、売却利益を目的に仮想通貨を購入したところ、もうかるどころか支払ったお金も戻ってこないという相談が寄せられています。
- ☆仮想通貨は、価格が急激に低下するなどのリスクを伴うため、将来必ず値上がりするものではありません。仕組みや取引に伴うリスクなどがよく分からなければ決して契約しないでください。
- ☆仮想通貨交換業の登録がなければ、国内で仮想通貨と法定通貨との交換サービスは行うことができません。
- ☆不安を感じたときは、すぐに消費生活センターにご相談ください。

資料提供：独立行政法人国民生活センター

【問合せ】

わからないことや困ったこと、少しでも不審に感じる事があつたら、早めに市消費生活センターにご相談ください。

相談日時▶月～金曜日(祝日を除く)午前9時～午後4時

☎382-2228